

大阪府枚方市 市長部局 ・ 枚方市教育委員会

【総人口】394,221人

【主担当部局】枚方市 子ども未来部 子育て支援室
公立保育幼稚園課
(公立幼稚園・公立保育所担当)

【主な関係部局】枚方市教育委員会 学校教育部
学校支援室 教育指導課
(公立小学校担当)

枚方市 子ども未来部 子育て支援室
公立保育幼稚園課
(保育所・認定こども園担当)

【自治体 関連URL】<https://www.city.hirakata.osaka.jp>

	幼稚園			保育所		幼保連携型 地域裁量型		小学校		
	国立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	国立	公立	私立
施設数	0	6	13	8	44	0	7	0	44	1
園児・ 児童数	0	421	2,690	929	5,841	0	1,756	0	19,376	572

事業実施地域・ 協力園校	【実施地域】 枚方市、香里小学校地域	
	【協力園校】 幼：公立幼稚園1園、公立保育所2園、私立保育所3園、幼保連携型認定こども園1園 小：公立小学校1校	
架け橋期の カリキュラム開発 会議	【会議委員人数】 モデル地域 …16名程度（各施設から1名以上参加） 架け橋事務局…7名(市長部局、教育委員会)	【開催数】 モデル地域 …12回（クラスルームやクラス単位で開催している回数 は含まない） 架け橋事務局 5回程度（担当者の打合せ等は除く）
	【委員属性】 モデル地域 … 各施設の管理職もしくは幼保こ小連携担当者等 架け橋事務局… 市長部局(公立保育幼稚園課) 教育委員会(児童生徒支援課、教育研修課、教育指導課)	
架け橋期 の コーディネーター等	【配置人数】 0名 【経歴】	架け橋期 の カリキュラム
		【開発主体】 「枚方版架け橋コンパス」 …架け橋事務局 ↕ 「モデル地域版架け橋コンパス」…香里小学校区

カリキュラム開発会議

カリキュラム開発会議：モデル地域の実践を踏まえて架け橋事務局で「コンパス」作成し、「枚方版架け橋カリキュラム開発会議」で決定。

方針：子どもたちに育てていく資質能力をクローバーの5つの視点で整理、見通して、どの地域においても活用可能な枚方版架け橋カリキュラム（枚方版架け橋コンパス）を開発する。

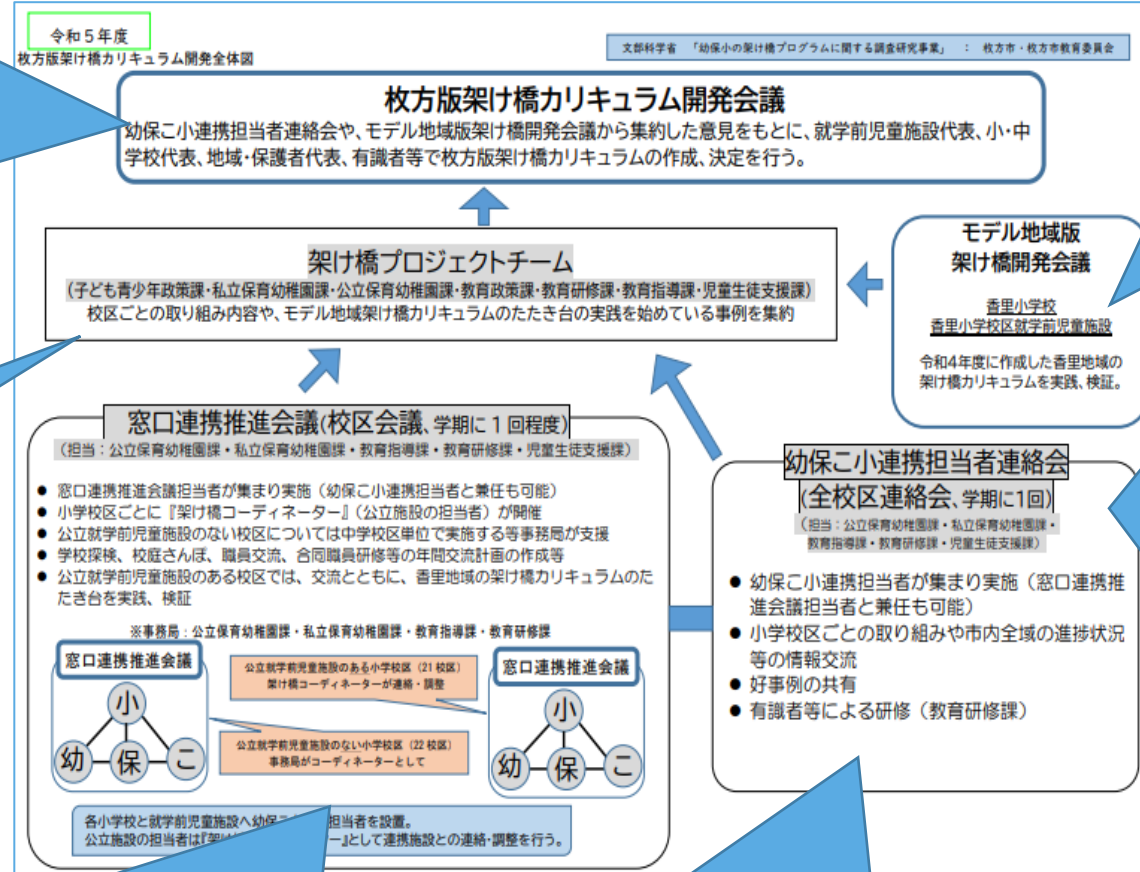
- ・市長部局や教育委員会内で「枚方版架け橋コンパス」の検証、内容確認と周知。
- 【教育政策会議】
- 【教育子育て部門会議】
- 【教育委員会協議会】
- 【都市経営会議】
- 【教育子育て委員協議会】
- 【子ども・子育て専門分科会】

- ・幼保こ小連携担当者連絡会の前に開催。
- ・担当課の役割確認や校区の進捗確認、市としての見通しや方向性の確認、及び「枚方版架け橋コンパス」の最終調整。

- ・校区毎Google classroomを開設し、そこでの情報共有、連絡を図りながら、会議や交流の実施。
- ・接続が深まったところや、事務局が支援に入るところなど、校区の取り組みについては差が大きい。

成果：教職員間の連携の強化、子ども・保護者の安心感

課題：会議の時間確保、カリキュラム作成の方法



- ・【モデル地域開発会議】と【架け橋事務局開発会議】と別開催。それぞれでカリキュラム表についての検討を図る。
- ・【架け橋事務局開発会議】にてコンパス作成。

・令和5年度3回実施

第1回管理職顔合わせ。

第2回担当で「校区でめざす子ども像」の共有や年間の計画作成。

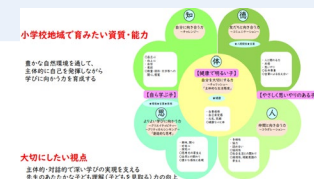
第3回担当で年間の振り返りや校区のスタートカリキュラムについて話し合い。

成果：教職員の資質向上

- ・年度末には、小中学校及び、就学前児童施設の管理職研修を開催し、有識者の講演も含めて、「枚方版架け橋コンパス」を提示し、令和6年度には「校区版架け橋コンパス」の作成を目指すことを周知。中学校区で「めざす子ども像」についての共通を図った。

架け橋期のカリキュラム

	令和４年度	モデル地域開発会議(香里小学校区＋事務局)
開発プロセス	10回開催する中で、小学校の「教育目標」や「願う子ども像」、また、それぞれの施設の「大切にしている活動」や1年生の生活科等での姿を「3つの資質・能力」で整理すること等の協議から、で育ちの連続性を確認。	
概要	0歳～18歳までに共通に育てたい資質能力（校区のめざす子ども像、5領域、10の姿、3つの柱、校区で大切にしたいキーワード）を「クローバー図」として整理。	



「クローバー図」作成

	令和５年度	事務局開発会議(事務局＋香里小学校区)
開発プロセス	クローバー図（5つの視点）を意識した活動や、生活科を軸とした「遊びと学びの接続」の検討を図る。モデル地域開発会議だけでなく、校区の好事例や、幼保こ小担当者連絡会などから集約した成果や課題を整理し、「枚方版架け橋コンパス」の作成。	
概要	枚方市がかかげている「夢と志を持ち、可能性に挑戦する枚方のこども」という育てたい子ども像の実現のために、架け橋期の学びの系統性を見通すことと、この表を作成したり改善したりしていく中でより就学前施設と小学校の取組の相互理解を図ることを目的としたもの。	

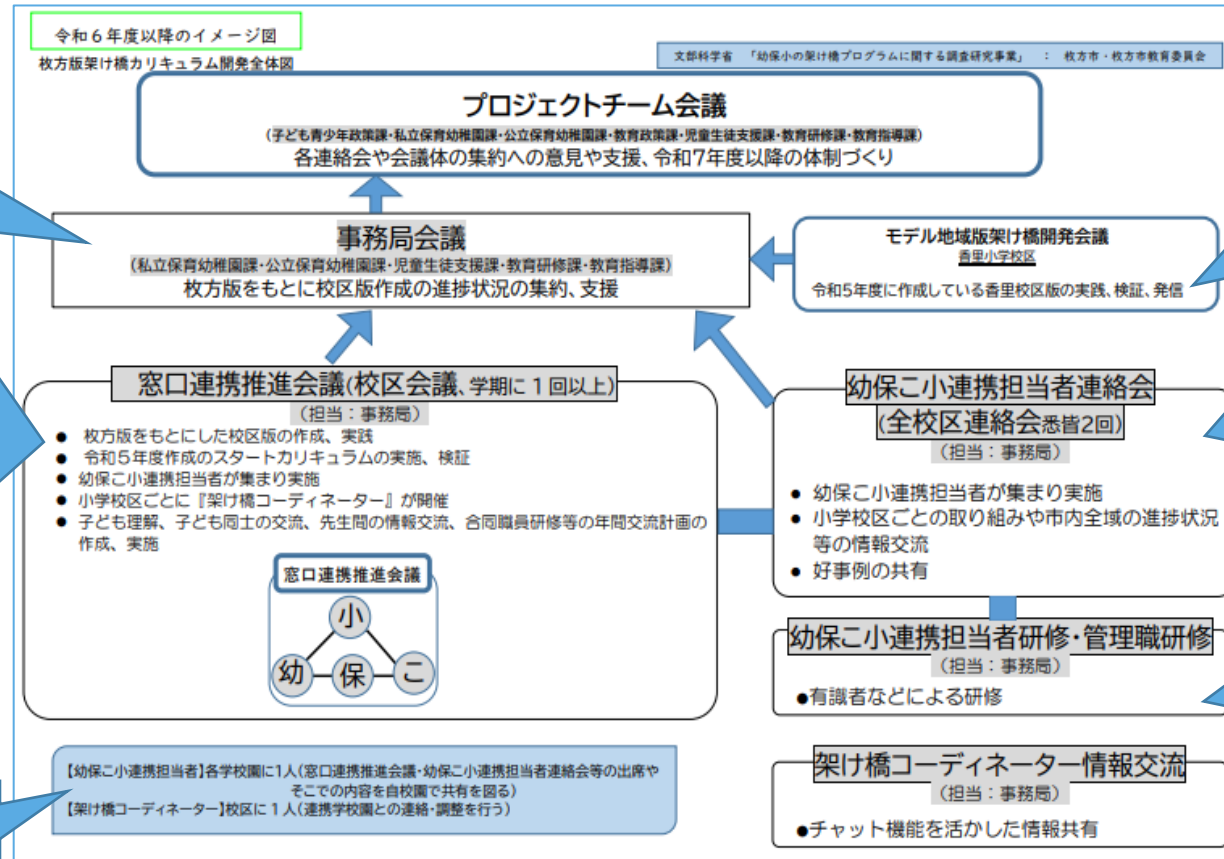


「枚方版架け橋コンパス」作成

「枚方版架け橋カリキュラム開発会議」にて決定

次年度への展望

地域で育てたい資質能力をつなぐ「校区版架け橋カリキュラム」を各校区において作成



- ・体制の強化。
- ・連絡会、研修の充実。
- ・効果的な支援方法の検討。

- ・共通の視点でつなぐ「校区版架け橋コンパス」作成。
- ・交流活動の充実。
- ・各学校園所のカリキュラムの見直し。
- ・就学先を見据えた校区分け。
- ・ニーズに応じた有識者や指導主事等の派遣。

- ・中学校区の「めざす子ども像」でのつながりに広がっていきたい。

- ・モデル地域版架け橋コンパスの検証。
- ・各学校園所のカリキュラムの見直し。

- ・各校区の好事例の共有。
- ・校区别交流の時間確保。
- ・研修対象の拡大。

- ・6年度以降も連絡会と管理職研修(中学校含)の実施継続。

- ・生活科や探究活動、スタートカリキュラムなどの勉強会。
- ・ICTが活用できる環境整備の推進や担当者専用の情報共有サイトの開設。
- ・就学前児童施設カリキュラム検討会にて5歳児架け橋カリキュラムのマネジメントを実施。
- ・学校間、就学前児童施設間の横のつながりの推進。
- ・モデル地域の拡充。
- ・架け橋プログラム事業についてアンケート実施。3年間の推移を検証。

どんな活動を、どの時期に行っているのか
どんな子どもの姿を大切にしているか

子どもの育ちを示した クローバーの視点 5C+1(チェリッシュ)

持続可能な連携活動の検証